

令和8年 月 日

こども家庭庁 様

熊取町議会議員

議長 文野慎治 坂上昌史
渡辺豊子 二見裕子
河合弘樹 多和本英一
大林隆昭 田中圭介

こども医療費助成制度に関する要望書

平素は、熊取町の児童福祉行政にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年の出生数が67.1万人と10年連続で過去最少を更新しており、少子化に歯止めがかからない中、国は「こども未来戦略」を策定し、2030年代に入るまでがラストチャンスと位置づけ加速化プランに取り組むとしています。

こども医療費助成については、乳幼児の枠を超えて令和8年4月現在、大阪府内では全市町村において所得制限なしで対象年齢を18歳到達年度末までとし、全国的にもほぼ同水準の取組となっており、各自治体が地方単独事業として子育て世代の経済的負担の軽減に取り組んでいる状況です。

当該事業について、全国どこに住んでいても安心して子育てが出来る制度として維持・継続できるよう国の制度として、制度構築を進めていただきたく要望いたします。

以上